集市元豆六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集合共上車三十餘輛
邊冊共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一七九半紙　一仝　一圓八十錢
一連紙　一連　一圓
一フールスカップ　仝　四圓
一中判洋紙　仝　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚續　十四錢

一仝三組道具
一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一縞毛布　一枚　以上六圓五十錢
一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Rates for Advertis... Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料　一ケ月以內　一長期連揭減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減
每張四百文

特別廣告

橫濱正金銀行牛莊支店

資本金貳千四百萬圓
積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所　橫濱　神戶　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　天津　北京　大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話　十番　支配人室　百八番　事務室

日本郵船株式會社　瀛船出帆廣告

長幸丸　三月廿八日着
山東丸　三月廿九日發　大沽、芝罘、門司、神戶行
相模丸　四月三日發　大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行
橫濱丸　四月五日發　大沽、芝罘、門司、神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ末明出帆ノ分ヘ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話廿六番）

瀛船出帆廣告

日之出丸　長崎、門司、大連、營口間定期船　三月卅日入港　四月一日出帆
摩耶山丸　大阪、神戶、門司、大連、營口間定期船　三月卅日入港　四月四日出港
賴朝丸　同上
錦龍丸　芝罘、營口間定期船　三月卅日入港　四月四日出港
營口代理店　松茂洋行船舶部

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
元神廟街三百〇六號　松茂洋行商業部　河岸通（電話五十二番）

三井洋行

●精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷着

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上降り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綛子洋襪鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一[illegible]

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨是及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幇火輪船生意兼賣各樹洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟星象牌（斯達）櫻花牌（撒酷啦）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話架設中）

明治火險公司

三井洋行經理
本公司開立己久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行而議（電話六十六番）

㊂丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し屢に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可く仍て特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口　瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌啤酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷

本行汽船摩耶山丸賴朝丸專往東洋各埠
松茂洋行（電話五十二番）

聲明丟失滙票

啓者於清歷正月二十二日有營口永同和在阿什河買和順昌匯票兩張計該號昌字十七號永記名下平銀五仟參百五拾兩整又拾八號功記名下平銀二千六百七十五兩整均係二月二十五日准期營口付銀此票係於正月二十二日由阿着合盛信局悄營不料路中丟失今已向該營分號掛號說明此二票無論失落何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報以爲聲明
清歷二月二十四日
永同和主人啓

失票聲明

啓者本號於本月十四日接省城來電云有阿什河寶泉長在阿由和順昌匯妥長記名下平銀一千零柒拾兩整係昌字二十八號至營交與本號代取此票托友携營不意行至奉天車站偶逢匪人竟設僞局詐去當即寄電之後本匯主業已來營即至同興宏內厲和順昌該二家自昔頗有相契刻間已將此匯款如數使出倘有官商拾得此票者即作廢紙特此聲明
二月廿一日恒增通主人啓

飯塚工程局　材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之需國本主人啓

東清鐵道　裕和盛運輸局

（電話八十一號）
任東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎
謹啓

營口商業學校招入學生

宗旨　造成辦公實業家
學科　修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、體操
學額　五十名
資格　十五歲以上文理明通者
學費　特免惟寄宿生自備饌資餘皆本校墊辦
入學　陰曆三月初一日
夜班　專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱
本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成效茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

丸重洋行　貨物運輸

本行前在營口臺置雜貨已有年今者經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉値籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口四拾八番　牛家屯四拾六番

聲明假冒

協泰昌興記絲號大有昌洋雜貨號外面並無作保等情近因同字號最多恐有假冒本號圖章特此聲明
本號主人白

上海　中井洋行

專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書糖各式紙料莊票包棉紗料草板紙張け本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

營口青堆子　加州組

（電話八十六番）
自造煉瓦●瓦並に各種石材販賣

三井物產合名會社　牛莊支店

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
（電話六十六番）

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實爲旨懇切受托重叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨種多少論担算或論噸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨人可也特此週知
新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

税關手續

一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依賴ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口英國領事館東首　綏定門街第五〇
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮蔵

東京電報

●滿洲經營費略決定

昨日寺内陸相坂谷藏相兒玉大將及其他閣員委員等西園寺首相邸に參集して滿洲經營に要する財源に付き協議したる結果大体の方針を決定せり（三月二十四日發電）

倫敦電報

●伯林の露國攻擊

伯林の新聞通信社は露國外相ラムスドルフ伯がモロッコ會議に列席せる露國の代表者に打電して露國は佛國に對して常に忠實なる同盟者なる旨を言明せし件に付き痛く露國を攻擊して恩を知らず二心を抱くものと爲せり

●米國大統領の辯護

大統領ルーズベルト氏は移民法勵行を主張する勞働者の代表等に對して清國人の入米手續きを寬大に附したる處置を維持辯護せり

●視察員の倫敦着

清國視察員の一行は倫敦に到着せり

（以上三月二十三日發電）

●モロッコ會議と獨相の責任

獨國の諸新聞はアルジェシラス會議に於ける獨國の外交に對し益々不滿の念を高め首相フォン、ビューロー公の責任を切問するに至れり獨國政府はラムスドルフ伯の打電を機會に立ちすくみの姿勢を變化すべしとは一般に信ぜらるゝ所なり

●選擧費と竊盜罪

紐育市の裁判所に於て一名の判事は保險會社の重役が政治的選擧運動に對して社金を寄附したるは竊盜罪に相當する旨を主張せり

（以上三月二十四日發電）

雜報

●大連通信（廿三日發）

▲山本海軍大將着連　軍參議官山本海軍大將及伊集院軍令次長、加藤海軍次官等を乘せたる假裝巡洋艦滿洲號は本日午後五時當海軍防備隊沖錨地に着港せり大連防備隊司令官大久保少將之を本艦に迎ふ然るに山本大將は微恙あり上陸せさる事となり伊集院、加藤の兩少將のみ上陸せり時に午後六時、山本大將は明日上陸視察且石塚民政長官の夜會に列席の筈（豫定）明後日旅順に向ふこれも海陸路を何れに採らるゝや未定なり

▲松永陸軍中將容体　第三師團たる松永中將は舊臘陣地出發凱旋の途に上られたり然るに途上病に冒され殊に客車中甚しき下血を見る事二回、加ふるに熱發、事腦体なり醫官は强て閣下を奉天病院に導き入れて專ら意を治療に用ゆ二月二日以來漸次熱は下降して同十四五日に於て無熱となる此分なれは二月中に於て奉天出發凱旋の途に上らるゝなるべしと思ひきや同月廿四日に於て更に發熱而かも四十度五分といふ高度を示し加之ならず吃逆壯んに起り爲めに眠に就く能はざる事三晝夜、殊に疾む既に二箇月左なきだに身体衰弱將又五十六の老体大に前途氣遣ふべきものあり頗る重患なり半田奉天病院長及三師團軍醫遠藤軍醫等は半夜交代で以看護卅分毎に病狀を診す然るに三月上旬より漸次快方途に去二十一日を以て奉天を發途するにいたりしなり廿一日發廿二日着乘車時間三十時間恙なく大連に着せり而かも病体に些の異狀を見す目下關東病院第一將校病室にあり（元露の教會堂）予は奉天にありし頃屢々訪問容体を伺ひ以て之を社會に紹介せり副官醫官及中將の令息中尉とも面議あり本日之を病室に訪ふ遠藤醫官曰くモウ大丈夫なり中將の元氣壯んなり副官は曰く特旨位階の事異赤な噓なり特に萬朝の黑枠肖像掲載の如き吶何たる無禮ぞ……多分二十五六日に上船の事となるへし……或は病院船小雛丸ならんか、陸相は見舞として東京第二衛戍病院長たる近藤二等軍醫正を特に派して病狀を診せしむ多分同行病中將の凱旋に隨ふなるへし

▲大連實業會　當地の商人相寄り茶話會なるものを設け月の十日を會合日と定め食膳を俱にして懇親を結び且つ商事を研究しつゝありしか會員漸次增加五六十名に及へるを以て今回名を實業會と改め規矩を建て條規を設け以て團体組織とせんことを民政署に願ひ出たり之れか幹事として擧けられたる者は商船會社の金島仙四郎、山縣回漕部の伍賓仙吉、三重洋行の米川章雄、佐藤組の佐藤平誠、原田商會の大羽昇治、靑木洋行北條三野夫、福井洋行佐々木雄次郎、大成商行の出水彌太郎氏等なり（在大連）（安齋生）

●撫順近況　撫順歸來者の談に據れば同地も昨今漸く秩序立ち來りて雜貨店も二軒新に開業して日常の用辨には差問無く料理店四戸（酌婦二十四五名あり）西洋料理店一戸旅店一戸あり宿料は一泊一圓にして營口よりは非常の廉直なり其他洗濯屋あり斷髮屋あり菓子屋あり斷髮料料並二十錢上等三十錢にして是れ營口の半額に當らずといふ

●遼河の流氷　營口附近の氷塊は一時全く流下して水面洗ひたるが如くなりしも昨日來上流より又々氷塊を流下し來りて河口に停滯し大船の碇泊には左迄の差問無きも小形の汽船及び帆船は流氷に衝き當てられ船體を破損する恐れあれば深く注意を要すとなり

●郵便局の執務時間　當郵便局の執務時間に付左の如く申越されたるを以て左に其全文を掲け在住者の參考に資す

當局執務時間は左記の通に有之候處往々當地在住者にして右時間を知らさるため不便を感するもの有之哉に聞及び候に就ては一般公衆周知之必要を認め候條乍御手數左記執務時間の模樣を貴紙雜報欄内適宜の箇所へ揭載を御取計相成度此段申進候也

明治卅九年三月廿四日　牛莊郵便局

滿洲日報社御中

牛莊郵便局執務時間

郵便物受付及切手類賣下　自午前九時至午後六時

但祭日日曜日は小包分室に於ける午前六時より午後十時迄切手賣下を除く外午前九時より午後一時迄とす

爲替貯金　自午前九時至午後五時

但し祭日日曜日を除く

右は郵便物引受爲替貯金の取扱及切手類賣下時間にして内部に於ける郵便物並に電報の配達遞送差立等の事務は取扱時間に制限なく晝夜執務し郵便物電報配達上の敏活を期す

●開平炭礦の採量　去十日より十七日に至る一週間に於る同炭礦の採炭高は一万九千四百十二噸にして一日平均二千七百七十三噸なりしといふ

●在滿洲正金出張所昇格　正金銀行が滿洲に於て紙幣の發行軍票の引換等に從事し若々兵業の擴張振興を計りつゝあるとは世人の夙に熟知する所なるが聞く所に據れば此程の同銀行總會に於て大連及び奉天の兩出張所を支店と爲し同時に大阪の出張所をも昇格せしむるとに決せりといふ

●瀨川領事の歸館　豫て遼陽奉天方面に出張中なりし瀨川領事には再昨日歸館せられたり

●能登丸の入港　大坂商船會社滊船能登丸昨日未明入港せり同船は去る十八日大坂解纜神戸門司芝罘を經由して當港に來れり積荷は雜貨三千二百卅二個を搭載し乘客日本人男五名女五名都合十人外に芝罘より苦力七百五十余人なりと因に本、貨物の陸揚をなし明日より大豆、豆糟を滿載する由なれば多分四月一日頃の出港ならんと云ふ尚外に外國滊船數艘入港し河々畔は爲に餘程活氣を呈せり

開河後の遼河

●昨夜の出火　昨、晩餐を終へ未だ幾くならず六時半とも思ぼしき頃編輯室の玻璃窓を透して西棟なる記者宿舍一面を恰もサーチライトもて照されたるかの如き怪し火の見ゆるにぞ驚き戶外に出づれば東北に當り餘炎巳に天に漲るを見る我社と相距る數十歩の間近かなれば走つて門外に出でしに即ち東永茂油房の倉庫より出火し其貯藏品に燃え移りて火勢一時に猛烈を極め瞬時に三十間餘に互る大倉庫一棟を灰燼に歸し餘炎傍に積みありたる大豆を燒き拂ひて斯くは天を焦す許りの猛火と爲りしなり然れども同倉庫は孤立せる一棟なるを以て附近の太豆若干を燒きたる外他に延燒を見ざりしは不幸中の幸なりき出火の原因に就きては未だ聞くを得ざりしと雖も同倉庫の二階には豆油を入るべき籠を貯藏し階下には荷造用の繩を納めありしものなりといふ東永茂の油房といへは營口第一の油房なるのみならず三井支店の之と相隣りし爲め東營口よりの見舞人等頗る多く一時の混雜殆ど名狀すべからず八時頃全く鎮火せり因に右倉庫の在中品は前記の如くなれば左したる金高にあらざるのみならず倉庫も保險附と爲り居れば損害は比較的大ならざるべしといふ

●東西南北

▲端書の表面に書信を記する時は罰金を科する定めなるも近時流行の益々盛ならんとする今日頗る不便の點も少からざれば本年六月羅馬に於て開かるべき萬國郵便會議に於て特別取扱とする便法を開くに至るべし▲日露戰爭の戰利艦ニコライ一世の大錨は去る十七日より海軍省正門と玄關との馬車道の中央に据ゑ付けたるが高さ十五尺なりといふ▲東久世伯會長の下に小兒に關する古今東西の製作品を蒐め『こども博覽會』として來る五月三日より二週間上野公園に於て開催すと▲陸軍の全部凱旋に至らは大々的觀兵式執行せらるゝ筈に付ては其際遞信省は紀念切手及び葉書を發行することに決し全國師團司令部所在地の郵便局に於て發賣する筈▲獨逸租借地靑島より山東省首府濟南府に達する膠濟鐵道即ち山東鐵道の昨三十八年度に於ける乘客數總計七十九萬五千人にして運搬貨物三十万三千噸に上れり之を一昨三十七年度の乘客五十五萬八千人載貨十七万九千噸に比すれは前者は四割强後者は六割九分の增加なり▲外國人にして韓國內地に旅行するものは韓人にして外國に旅行するものに對し從來外部にて旅劵を下附し居りしが今後統監府及び理事廳にて下附すへき旨統監府より韓國政府に聲明せりと▲饑饉のため職業を失ひたる東北地方の大工百五十名漁夫五十名は東京興業仲介所の紹介により臺灣出稼の事を總督府殖産局へ申込みたるに大工十數名は直に需要あり近々渡臺する由尙出稼希望者は同殖産局に申込めは諸般の便宜を與へらるへしと▲本野公使の赴任と共に日露の外交機關も復舊せるに付政府は今回愈々浦鹽斯德貿易事務館及び痾德沙領事館を再開し川上俊彦氏を浦鹽斯德に飯島龜太郎氏を痾德沙に赴任せしむるとに決定し巳に其任命を見たり

投書かご

▲郵便局と申告簿　我輩は郵便局に申告簿を備付くるとを主張する者である我日本內地は勿論露西亞の如き專制國でもチャンと郵便局には申告簿があつて其局に希望があるとか不便な廉があるとか若しくは局員に不都合な事があるとかすると素町人土百姓より我々黃色の東洋人に至る迄忌憚無く事實を書き付くればそれが夫れ〳〵監督官廳に廻つて行つて郵政上の一大參考と爲る尤も露西亞では上官の目に留つたとてそれが悉く郵政刷新の目的に善用せらるゝかどうかは分らぬ却て賄賂でも催促するやうな方に害用せらるゝかも知れ無いが兎にかく形丈けは人民の不便を成るべく減じやうといふ趣意に爲つて居る然るに新進文明國たる我大日本帝國の牛莊郵便局にして未だ其道の開けて居ないのは誠に聖代の一大缺點である新殖民地郵便事務の寔情は當局者も是非知つて置く必要があるであらうから是非に申告簿を備付くるとを希望するのである（憤慨生）▲炊事男樣に申上げます私は御注文通りの醜婦で且つ獨身者でございます お人によりては老實に一身を献げたいのでありますが併してちらには少し望みがあるのでございますから若しお差問無くば貴方樣の御勤め向きを御か業向等を鳥渡此欄へ御知らせを願ひたうございます（或女）

●電話器を種に詐欺（二人共謀）　小人閑居して不善をなすとは聖人の詠、玆に原籍山口縣厚狹郡厚江村現時住所不定の三由豊一（廿五）は元壯士俳優の馬の脚を勤め居りし男地獄にして昨秋平の町營口座へ一座の連中と共に來りしも同一座は損續きにて總て內地に歸りたるも前記三由は居殘りて一時は夜な〳〵河内瓢箪山戀の辻占と叫び各所に散在する料理店に至り顏馴染の藝者仲居に十錢二十錢の無心を得て漸く其日の糊口を凌ぎ居りたる所其內に或人の周旋に依り當地軍政署電話局の交換手に雇はれ日給四十錢を頂戴して、やつとの事一人前の躰となり表面忠實らしく裝ひ居りたるも根が馬の脚の古手いかで永續きのするべき筈なく少しく尻の暖まるに從ひ其職を亂用し奸策を以て不正行爲を敢てし現に鐵道員が各料理店にて遊び居れば直ちに至り軍政署の內偵とか云ふ口調の下に脅迫すれば彼等は無論不正の金錢故恐れて若干の金を與ふと云ふ有樣に彼三由は得意となりて時々右樣の手段を以て得たる金は悉く永世街大吉樓平の町滿月等の小料理店にて費消し繁々通ひ居る事其筋の耳に入りたれば早速解雇の恩命に接したる所彼は愈々以前に優さる糊口の道を斷たれ止むを得ずブラ〳〵此處彼處に、食客をなし居りたるも殆ど賃錢にも窮する有樣にて、が所謂小人の常として種々の惡計を案じ出し彼が元變換手たるを幸に是を利用して一攫千金の掴み取りをなさんとて同病相憐むの例へに原籍愛媛縣伊豫郡郡中町現時永世街永世湯奈田久良吉と云ふ素性の怪しき者と共謀し電話の不足にて商人の困難し居るを幸ひ支那人の旣設者を脅迫し奪ひ取りて日本人に賣附けんと云ふ巧みをなし其手始として二本町高坂洋行が電話の必要なる事を聞込み直ちに共謀者の奈田、同洋行に至り言葉巧みに話を持ち懸けたれば同行も近所に居を構へ居る者なればまさか詐欺にかゝるが如き事とは夢更疑はず其周旋方を依賴し一方三由は當地にて屈指の淸商義豊恒の宅に至り巳れは軍政署員なりと詐り當署にて電話の必要あるを以て一ヶ月間計り電話機を持ち歸るべく話したれば神ならぬ義豊恒は欺かれたる事とは露知らず署用とあらば萬止む得ずと承諾し書面に捺印しめ讓渡料として銀百十圓移轉料として六十圓都合百七十圓を騙取し尙も飽き足らず此等の手段を以て西北街白川洋行及び元神廟街宇田精一方より二百五十圓詐取し其金は悉く前記料理店にて費消せし事判明し直ちに憲兵に引致せられ嚴しく訊問したる所逐一白狀に及び一件書類と共に領事館に押送せられたりとは橫着なる泥棒と云ふべし

△△△復活の營口　一たび遼河の開河を見てより、ジャンクの上に笑かれたる營口は、俄に三冬の寂寞を破りて、埠頭の熱鬧再び沸くが如し。嗚呼死せる營口は既に復活せり、在留六千邦民手に唾して立つ、則ち遺利や悉く汝に在らん。

大車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝帮子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上一、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

税關手續
一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
[illegible]

日本建家屋
右家屋賣却又は貸渡す御望みの方は

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
營口 川鐵

天氣
營口地方天氣豫報　自三月廿四日午後六時至三月廿五日午後六時
南の風曇り少雪

小説

新作小説 **おとし胤**　　徳田秋聲

（二十一）

丁度彼の巨漢と健三とが、墓地の中で光の一大事に就いて話してゐた時分。猿島家では、上へ下へと、ごさくさ大騒が始まツてゐた。話は愈々、光の上京に決定して了ツたのである。彼女の前途は、暗か光か。兎に角運命の神は彼女を東京へ導いた。

光は、健三に別れて、家に歸ツて見ると、合田は、さも心配さうな顔をして門口に突ツ立ツてゐた。光の顔を見ると直に、

「お孃さん。お孃さん、貴方何處へ行ツてゐらツしやいました。」

「鳥渡、あの、其處らまで………」

「其處らまで？………散歩ですか。」

「は。」と彼女は、眼映しさうに日光を見上げた。日は、中天に輝いて、遠くはうす霞、近くは、麗に晴渡ツて、足下の若草には、ちら〳〵と陽炎が立ツてゐた。

「何うも、然うのんきでは困りますな。」と合田は、難しい顔を、いとゞ難しくして、「さ、孃さん、まご〳〵してゐらツしやる時ではありません。貴方は、何が何んでも、兎に角御上京なさることに決定致しました。貴方はもう、何も躊躇いてゐらツしやることは無い。」

「私が、東京へ行くことに定ツて了ツたんですツて。」

「おや、燕が。」

燕が一羽、玄關から出て來て、つ、つ、ついと門を拔けて、見る間に彼方の柳の下に見えなくなツた。

と謂ひながら、何時も見馴れた景色ではあるけれども、光は今更のやうに、恍然として其處らの景色を眺めてゐた。

而るとまた、合田の皺枯聲が響いた。

「お祖父樣は、快く貴方の御上京を御承諾なさいました。今度は貴方の番ですけれども、併し貴方は、父樣の許へゐらツしやるのですから無論御不服はありませんな。」

光は、何んとも答へず垂頭いて了ツた。合田は、獨で會得むでゐるやうに、

「そこで今日の午後六時の汽車で發車なければならんのですから、何うか直にお支度を願ひます。」

「今日の午後六時に？」

寢耳に水とは此のことだ。光は、呆れ返ツて、頓に返事も出來ない始末。

「まア、餘り急ぢやありませんか。」

「然うです、急は急です。けれども急がなければならぬ理由があるのです。何しろ直に御支度を願ひます。遲くも二時頃までに出掛けないと六時の滊車に間に合ひません。」

と殆ど命令である。

光は、何んでも對手の氣に觸らぬやうに巧にいふことが出來ない。それで眞率になツて、

「だツて、其樣なに急いだツて爲樣が無いわ。其樣なに早く支度が出來るものですか。私にだツて夫々用があツてよ。」

「いや、大概の用は放擲ツてお置きなさい、何有、大した用でも無いでせう。」

「大した用で無くとも、用は用です。昨日の今日ですもの、其樣なことを謂ツたツて無理よ。」

「無理でも何んでも然うなさらんと可けません。」と謂ひながら、合田は、帶の間から時計を取出して、「今、八時半ですな、直に支度に取懸られたら、何うにか此うにか間に合はんこともありますまい。何んでも事は急ぐに限ります。いや、起きて見ると、急がなくツちや面白く行きません。貴方がお見えなさらなかツたもんですから、私、何樣なに心配したか知れません。」

そこで光は、腹立紛、大急で祖父樣の室へ馳込むだ。座るか座らぬに、

「お祖父さん、私は、今日東京へ發足なければならないんですツてね。」

「何んだ、其の言樣は？………假令何樣なことがあツても、もツと落着いて口を利くもんだ………東京のお邸へ行けば、尚更のこと、氣を注けんと可かんぞ。」

「はい。」

と謂ツたけれども、光は大不服。

「そりやの、藩公にはの、何か御都合がお有りで、此の二十六日まで、何うでも其方に逢はなければならんと御意なさるゝのぢやげな。二十六日といふと、もう四日しか間が無いのぢやから、是非共今日中に發足んと都合が悪いと那の仁が謂はるゝので、それで何うで行くものなら、一日や二日延ばしたとて何んにもならんことぢやから、それなら然うなされと同意したてとぢや。」

そこで光は、絶躰絶命。爭ツて見ても拗て見ても爲方の無いことになツた。そして近所の誰彼が來て、荷造をするやら光に身支度をさせるやら、ごツたすツたの大騒となツたのである。

其の騒の中にやがて、午近い頃となツた。町へ迎に遣ツた二臺の人力車も來た。その時光の姿が、ふと見えなくなツた。

●頭陀袋　信濃飯田町鈴木某の妻お何二十四年間に九男十女を擧げてそれが今皆健全であるさうな子福者もそんなに多くちや餘りお芽出度過ぎる▲田舎者近頃東京の灰殼女學生を眞似て何んでも學問をするに限るといつて婚期を誤る者が多いさうぢや▲毎年花期には外人の我邦へ來遊する者神戸許りで月五六百人を下らぬが今年は別して多く毎航海毎に旅客滿員のさうである

▲新潟縣女子教育會では今回家政教育を開く決議をしたが何んでも四月から毎土曜日に修身家事、裁縫讀書を敎へるさうぢや戰後の日本はそれ丈けの用意が無くちや爲らぬもう一つ外交官にも軍隊的訓練が必要だ

遊歴所感　　犀陽

學僧脱俗我無能

學僧脱俗我無能　賞月異郷感懷增
得信乍如加壯健　・無詩久似憶良朋
遼東載筆遼西寫
驅馬森山滴翠峰　駐車沙漠白雲蹤
遼東載筆遼西寫　到處風輕氣不重
知新温舊互歡聲
收容彼我死傷兵　博愛精神義氣平
戰後更觀興貿易　知新温舊互歡籍

遼陽　平山梅象

終日をうんぢはてたる逢魔時　操かへしては泣く旅の日記よ
『我宿の春』もゆかしの妹が筆　梅一輪を消息にして
秋の夜のねむり覺めぬいざやいざ　明日を命の劍磨かばや
（陣中磨劍の圖にかいつけたる）

廣告

このわた新荷着
大原洋行
營口永世街第二八號

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大道しげ子）
院主　森篤
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電一五五番）

法律事務所の開始
生儀前ニ判事并ニ地方法院長等の官職に歴任し及び辨護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辨護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依頼に應ず
營口永世街金城館南隣り
小林法律事務所
從七位勳六等　小林一生
○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絶對に謝絶す

盛京寫眞倶樂部

第一條　本倶樂部ハ盛京寫眞倶樂部ト稱ス
第二條　本倶樂部ハ寫眞術ノ研究家ヲ以組織ス
第三條　本倶樂部員タラントスル者ハ部員ノ紹介ヲ要ス
第四條　本倶樂部事務所ハ假ニ營口元神廟街三船寫眞店内ニ設ク
第五條　本倶樂部ハ同好者相互ノ娯樂ヲ謀リ兼テ寫眞術ノ研究ヲナスヲ以テ主眼トス
第六條　本倶樂部ハ毎月一回（第一ノ日曜）假事務所ニ品評會ヲ開キ部員ノ撮影シタル寫眞ヲ蒐集シ出席者ノ互撰ヲ以テ其等位ヲ定メ優等ナルモノニ限リ是ヲ假事務所ニ陳列シ公衆ノ縱覽ニ供スルモノトス
第七條　本部員ノ撮影シタル寫眞ハ此ヲ假事務所ニ保管シ置キ希望者アル時ハ（撮影者ノ承諾ヲ得タル上）相當ノ代價ヲ以テ讓渡スル事ヲ得
第八條　第六條ノ優等品ハ次回ノ品評會ニ於テ抽籤ニ依リ部員ニ頒ツモノトス
第九條　本部員ハ假事務所備付ノ器械附屬品及ビ暗室等ヲ隨意使用スルヿヲ得ベシ
第十條　本部員ハ會費トシテ毎月銀三十錢ヲ出金スルモノトス

明治卅九年三月十八日

盛京寫眞倶樂部

發起人　稲垣仲太郎　黒澤禮吉　相部政太郎　前田鋹次郎　黒澤茂雄　後藤太郎　齊藤鍵太郎　小河原政藏　岩間善九郎　小林隆雄　神崎富三郎　上野正則　三船秋香

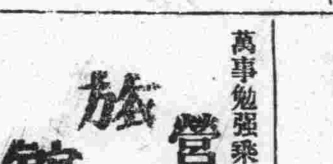
滿洲商家名鑑發行の趣旨
滿洲商家名鑑は滿洲各地に散在店舗を構へて業を營む本邦人を普く網羅し且つ著名商店の現況を仔細に描寫し店主若しくは主任者の閲歴性行等を詳録し汎く之を紹介し以て商業取引の圓滑融和を圖んとするにあり製本体裁は菊版本綴表紙總クロス三百餘頁とす一部定價銀二圓
一寫眞廣告料　二十圓　普通廣告料十圓
一特別廣告料　二十圓
右發行人　安齋源一郎
◎滿洲商家名鑑原稿採集の爲め馬島音三郎を貴地に派遣いたし置候間同人御伺ひ致し可申恐入候得共相當御便宜御與へ被下度伏而乞上候也
滿洲商家名鑑發行人　在大連　安齋源一郎

◎營口商家案内地圖編纂
營口各位
右は滿洲商家名鑑附録として發行可仕尚製版印刷の上は特に一葉賣りも可仕候也
廣告料　第六圓
同地圖に廣告なさんと欲する諸彦は營口元神廟街二三鵜澤商店方馬島音三郎迄御申込を請ふ

會席料理　三日月
營口警務課前南に入る

料理部開業披露
弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就ては座敷向き等も凡て改築仕日本式の粹を拔き藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈〻本日より安直を旨とし開業仕候何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候
追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館料理　第一營口ホテル　第一樓（電話八四）

御手輕料理
一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

料理　滿月　平の町（電一五二）
滿月支店　平の町（元都樓跡）
店主　吉本[illegible]

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

昨夜出火の際は遠路態々御見舞被下難有奉謝候混雜の際御高名伺洩れも可有之乍略儀紙上を以て御禮申上候
明治三十九年三月廿七日
三井物産合名會社　牛莊支店
東永茂　潘玉田

昨晩適遭同祿豪諸公辱臨倉卒間未及詳悉姓名甚爲抱歉伏祈原宥佈達謝忱
三井洋行
東永茂　潘玉田　謹啓

謝近火御見舞　日東洋行

謝近火御見舞　滿洲日報社

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）

會席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

千客万来

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口南永世街憲第三十六號
北斗洋行質屋部

材木 荒物 販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町

本店 下關 秋田寅之輔商店

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着

第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候

ブッシ商會

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候 謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風痰嗽小兒風痰病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

東營口郵便局東隣 **島田洋服店**

新民屯停車場前 **同支店**

御旅館 豐陽館

上海(電話一〇六番)

日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱

館主 米田藤吉

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付莨大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 鑵詰 色々
洋酒類
右取次販賣

牛莊港東營口
宅合名會社 營口支店

大日本東京
本舖 山崎帝國堂葯房 處修

腦丸 **天授**

天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也
たんせき、ねつさましの一切の妙藥

腦丸者天下唯一之腦病靈藥也
腦病の名藥にして他に類なし

大清國 總批發處

營口大街(永世街二本町)
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處

大連市信濃町卅九號地

旅人宿 東館

特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

雜貨 醬油 水
すし米 清酒 大樽 牛樽 炭

營口西北街

阪神組

和洋雜貨及紙類 大販賣

奉天城內鐘樓南大街西

千賀洋行 (電話)

清國營口二本町二五五號

發賣 材木料 標子 木板

塩川商會

主任 鹽川峯吉 (電話一三六番)

遼陽西門內 鹽川商會

建築

電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
外に用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

弊店の特色は第一厨夫の腕
第二は材料の精選
第三は輕便眞のオアシス

美味安價西洋料理

永世街五十二號舊の福東興

牛莊亭

料理は普通上等特等の三種に分迅速に調理申べく候へども尚御好に應じて如何樣にても調理致し候又御通行の際御休憩御一服被下なば喜で御迎申候付ては諸洋酒コップ賣シガー壹本賣紅茶コーアコーヒー等御好に應候

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Eginneer.

Plans and specifications made to order.

Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

御旅館 天津

芙蓉館

駐屯軍御用 並西洋料理

北京

扶桑旅館

東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔
接待優遇懇切

開放全時一闕業
奉天小西門外ナ街路北

時刻
塘沽至北京　天津至北京　山海關至北京
天津至山海關　唐山至山海關　溝邦子至新民屯　山海關至營口

宮原公司
市場北三階樓　時計店ノ二階

楠屋
其外雜貨諸般

市場報

昨日の氣溫
昨日最高溫度四十度六　低十四度八
最低溫度二十八度八　低九度一

宮門抄

二十八日　工部　鴻臚寺　正藍旗值日　無引見
召見軍機
本日巳刻
皇上升　勤政殿德國使臣穆默帶領提督佩思泐　覲見
皇太后
左紹佐遞封奏一件
二十九日
內務府　廂藍旗值日　無引見
掌儀司奏初一日祭
奉先殿醇王行禮
召見軍機

代論

歷代遺臣謀國論（京師譯學館正月課）　順德盧爵勳學

有人民而後有國家。有國家而後有人民。人民與國家固相依而爲命者也。中古以降。私天下於一家。然其君主皆能以仁義權術籠絡天下。及其覆滅。猶有忠臣義士。感其恩。懷其德。爲之委身授命。與國存亡者。夏靡復四十年已亡之國。而禹祚不斷。箕子竄身絕域。以存殷祀。魯仲連懷蹈海之志。卒罷帝秦之議。之三子者。負乎尚矣。至於田橫自殺。江萬里赴海。堯君素殉河東。一死塞責。視司馬孚之哭大魏。庾子山之哀江南。尚可諒焉。自漢至今。栖栖二千餘年。其間眞人崛起。易姓受命。濫觴禪代。託義征誅。優孟衣冠。不一而足。愛國忠君之士。亦接踵而起。守之以純忠報之以國士。如諸葛公之伐魏。王茂宏之南歸。李長源之出山。宗忠簡之渡河。文信國之收衆眞州。史閣部之視師江北。民思故君。人懷共主。遂皆復出於翼戴之計。以繫海內之心。而恢復之巧。較人爲易。謂其猶有所挾持也。若翟義一故之子耳。能爲漢氏起兵。劉琨范長生龔壯之徒。每託僞朝以匡晉室。即張承業爲後唐宦侍。而終身稱唐官熊飛乃東莞愚民。而起兵拒蒙古。明末諸賢。如浙中六狂生。順德陳巖野先生。類皆以書生。提倡大義。彼其忠爲更苦矣。雖然長樂老人。白衣祭酒。陶穀出袖中之制詔。譙周作兩代之降書。富貴如昔。恩禮有加。乘犢車。歸鄉里。亦希世之榮也。誰不樂而爲此。而必間關僨塞。以圖恢復者。豈誠不知悅生不知惡死哉。蓋深明夫人民國家相依爲命之義。而不願一日爲無國之民也。武王克商。夷齊無食粟之地。李左車曰。亡國之大夫。不可與圖存。彼其事一姓。主一君。鉗軛於專制政躰之下。繼統者又居然蒙天吏民牧之名。宜其何事非君。而無所芥蔕於其中矣。而猶復諱謹於君臣之分。喻犬馬戀主之恩。然則强鄰踐踏。外族分裂。丁斯會者。更將何以處之也。顧亭林傷明之亡。斷斷於亡國亡天下之辨。馬伏波曰。君擇臣。臣亦擇君。此亡國之說也。王船山謂勾踐之所爲。非宋所得假以掩其恥者。此亡天下之說也。夫亡國有國。猶可以爲民。亡天下無天下。眞無國之民矣。猶太波蘭之種人。人權滅絕。則搯胸摯抉臟。爲民族死義而斷不甘爲奴隸牛馬不若之無國之民也。語曰。一夫致死。千夫莫當。太宗伐明。只患其疆圉之固。夫華盛頓血戰八年而美以立。噶蘇士欲保全匈牙利名譽。不惜牲無數之牛命。際此時艱。保全國家上也。保全國家之名譽次也。國亡固足惜。墮落祖國數千年之名譽尤足惜。歷代遺臣。皆不懷過保全國家之思想。世局日變。有與古代異者。幅幀破碎。蒂礪。斷折。而名譽愈不可不保也。昔西漢之亂。竇融據河西。收輯流亡。於光武中興之業。未嘗無助。劉淵恣逆。平陽稱起中原豪傑。爭渡江而南。而汾陰之民。猶結壘自守。不受秦燕徵調。西涼張氏。且遙奉正朔。朝貢頻至。他如兩河忠義江南民兵。自古在昔。焜燿史册。夫中國之習。非窮不變。警以思患預防之策。不如敎以張皇收拾之謀。歷代遺臣。故往往倉卒圖功。負曲突徙薪之智。而至於人自爲計。求一生於萬死。亦可悲矣。夫人自爲計。求生於死。此誠保國家保名譽者所不能易之政策也。吁古人往矣。世變方亟。亡國亡天下之慘。更將百倍古人。田單矢死而齊復。杜蘭斯哇舉國致命而英。故不得不以人自爲計。求生於死之謀告國人也。謝臯羽擊竹如意。且不容於新朝。陳獨漉更以詩歌獲罪。遼東非幼安閒居之地。甲子非淵明可紀之元。亡國亡天下之辨不可不明。幸勿爲古人誤乎。

中外要聞

●愼重俄約　近聞唐侍郎少川頻與瞿大軍機商酌中俄條款昨又電告吉林黑龍江二將軍查明鑛產若干處及修築鐵路圖册作速馳送到部以憑核辦此次中俄議約政府諸公甚爲留心每與慶邸會議某條可否簽押然慶邸並無干預之言不知何意

●條陳教案　日前李學士呈遞封奏一件係謂江西南昌教案起禍緣由實因法教士所致其曲在彼且無故戕害我國印官尤屬藐視近聞該國領事官反多要索殊出情理之外案情重大請飭兩江總督暨外部大臣詳細勿畏饒舌輕於允諾總期判斷公允就我範圍以維國體而快人心其大致所奏與惲毓鼎略同

●肅邸行期擬定　昨聞可靠消息肅邸赴古查辦事件俟中俄議約就緒再定行期此次所帶俄文譯員一人蒙文譯員二人滿文譯員一人其餘僕從十六人並不准多帶跟役肅邸此行實欲沽清名也

●電商東省開埠事宜　昨軍機大臣接到直隷總督袁宮保來電係告議訂東三省開埠辦法披閱後慶邸諭擬定期會同財政處核議並籌提款之策在政務處大開議論謂此事實爲保固利權之上策當日即電達盛京趙次帥矣

●妥籌邊防　又聞最近消息政務王大臣議及邊防一事以西北邊徼地方按年添練新軍逐漸增加以期多儲强壯精兵俾防俄人之狡謀庶免受其欺詐其餉項除由各省協濟外並飭各該大臣即將各處荒地儘力開墾以續餉源云云議妥今日入奏

●要求航路　法商至外部極力運動聞係要求滬紹航路行輪當經堂憲拒絕該法商現時尚在法館常與呂大臣會議將來呂大臣或有一番營謀也

●浙路籌款及定期勘築情形　浙路總理湯劉兩京卿到省後適英領事與撫台交涉當由兩京卿飛電外部二部據理駁廢報嗣悉湯京卿電有衰絰而出誓爲此路犧牲等語聲淚俱下各府先已公舉代表到省由巨紳朱侍郎領銜共一百數十人公呈撫台峻拒爲民請命詞甚沈痛正月念八日集省地殷富紳商二三十人籌議股事當時慷慨簽允者如王達甫君胡藻青君蔣海籌君均認十萬其餘數萬數千者不少共計日而得一百餘萬尚有鹽商議按引入股多業亦多明大義集股以助又可得百萬之數劉京卿自認五十萬杭地一隅耳而人心如此可爲浙路前途幸兩縣已徧貼告示謂天一晴霽即由工程司復勘城東路綫不日開工惟聞與光緒念九年之部郎所勘之線畧須改道云

●粵省紳商籌集路股　廣東粵漢鐵路集股情形迭紀本報茲聞目下所集股數計黎紳國康自認一萬股德慶州總局致電總商會認一萬股九江萬善堂鐵路公所覆函願認招一萬股雲南河口廣商會覆電認實一萬二千五百股小呂宋同鄉亦已覆電允爲担任義務聞本月初三日各行代表員及九大善堂董事復假座愛育善堂會議鐵路事宜宣布章程條議有認可者有再宜研究者條目紛繁大約須俟磋商詳細方可再行宣布並定於是日起暫借愛育善堂爲集議之地各代表員宜聯一團體凡二五八爲尋常會議其有特別會議先三日將會議事件登報俾先研究

雜報

●田莊臺學堂之開設　田莊台紳董禀請將娘娘財神兩處廟產及一切進欵歸入學堂內分三等一高等一初級一蒙學初蒙兩等已於二月十六日開學官派王君仲良梁君占一爲敎員蒙學生六十名初等學生四十名其挂號未入者尚五十餘名俟房舍落成一律入學聞該縣官紳猶思盡力擴充以期達其目的而此兩學堂之開辦計海城縣正堂管助每年應得進欵二百兩東錢六百吊承辦紳士王君掄元遲君懋德各助銀二百元劉君發永張君作棟李君松森郝君輔元厲君廣山楊君永松各助百元該官紳等熱心敎育於此可見一斑

●貧民驟富　有山東省掖邑民劉顯懋者執瓦匠業年逾不惑家甚寒微於前數年來本埠居賃通利橋北某姓土房三椽開設合發瓦匠作而自奉儉約尋常一錢不肯妄費詎忽於今春正月拚手票四元八角買南省彩票一枚於二月五日由南來函竟得頭彩計四萬元劉猶長懷怦怦未敢篤信迨十五日將款如數會來居然暴富矣然劉安素如常前日躬同瓦匠爲人圬屋或曰劉兄業竟巨富何尚塗泥濡水操此業哉劉曰斯乃我之根本何敢棄焉咸爲稱贊不已云云

●愚夫拙志　本埠今春房屋驟然騰漲租價貧民多無所遷移有一山東民楊姓者性甚愚懦日負木箱游賣熟腩爲業前年該妻由原籍尋來乃賃租關帝橋南于姓房居住今春因租價騰漲于將房轉租他人屢次催楊遷居奈楊尋賃房屋不得迭被促迫携妻無歸輾轉多艱尋思無路竟於昨午仰阿芙蓉膏該妻得悉急於某烟館牆下用藥灌救距午傍夕已殞命矣

●輪船進港　昨日午前有輪船五艘進港統載搭坐諸客約有千人俱經下船登岸旋因上河冰稗湧下該等遂復起碇出港聞惟牛莊輪船傍岸餘輪停無多頃未得詳詢其名云

●現時會水　本埠向各埠會水銀由前逐次跌落從未回漲昨日向上海會水每千兩與收主加色銀二十七兩向天津會水每千兩與收主加色七十八兩向瀋陽會每千兩加色六十兩向寬城子會水每千兩加色五十八兩向吉林會水每千兩加六十五兩向錦州會銀一錠加色四兩二錢現銀每錠加色四兩七錢小銀圓換爐銀一錠七十五元四角手票一元換爐銀七錢三分四厘云

NEWCHWANG, TUESDAY, MARCH 27, 1906.

The late cold spell bringing with it conidderable snow, which has now nearly disappeared, as it were, at the eleventh hour, has delayed, it is said, the clearing of the floes at least by a week. The upper reaches as below as Goose-Island situated about half-way on the waterway between here and Tiehchwangtai having been still ice-bound, local experts are afraid that it will take about a week longer before seeing the River thoroughly freed from the ice.

The s.s. "Lisa," Swedish, the "Progress," German, both from Chefoo, and the "Peiping," Chinese, from Chinwangtao, put in last Sunday, followed yesterday morning by the "Nato-maru" and, in the afternoon by the "Tongshing," British, in which Mr. C. G. Bush has come back from Shanghai. An influx of native coolies continues to pour in large batches by every steamer.

The s.s. "Newchwang" alone was seen alongside Messrs. Butterfield and Swire's wharf yesterday afternoon, all the rest keeping off shore in the middle of the river.

The Quarantine Station in front of the "Manchuria House" was re-opened on the 20th. inst., with Dr. Daly and Dr. J. Matsui, *Igakushi*, a graduate of the Imperial University, who has recently arrived, for Health Officers.

Captains D. F. Lawrence, H. Nuttal, and Y. Saito have returned of late to the port and all of them have taken up their rooms at the "Manchuria." Capt. Peacock, the senior member of the Pilot Association, now being home in England, is not expected back here before the end of next May.

Dr. Christie left for his home yesterday afternoon. Rev. Mr. Gillespie who has lately returned here from Chaoyang, took the same train for Mukden on a visit.

We add though not without some diffidence that Dr. Christie has desired us to publise an acknowledgment for the facilities accorded by the authorities acting under instructions given by Marshall Marquis Oyama, while he was at Mukden, in forwarding by rail free of charge all the timber for constructing the Mukden Hospital. The Administration has placed the light railway at his disposal and laid a special line to the lumber yard near by the Bean Mill, in order to carry the timber direct to Niuchiatun Station; which courtesy has been also greatly appreciated by the genial gentleman.

The last of the series of the musical service was held yesterday evening at Assembly Rooms, Rev. Mr. Webster having given a singularly impressive address to a large attendance.

It is learned that, in view of the 8th debate coming off on the 30th. inst., the Winter Amusements Committee have not yet decided as to promoting still another gathering. However, a call for something to wind up the season with seems to be gaining ground.

The numerous friends of Mr. and Mrs. C. Decker will be pleased to hear that their two little daughters are on the way of rapid recovery.

The latest Tokyo wires inform us that H. I. H. the Crown Prince will proceed to Kure Naval Part early in April to be present at the launching ceremony of the armoured cruiser "Ikoma" sister ship to the "Tsukuba." A rumour has found currency that Sir Claude McDonald, the British Ambassador to Tokyo, may go home on leave in the coming June. The survey for the contemplated railway between Muken and Hsinmintun having been completed, H. E. Viceroy Yuan Shih Kai has urged the Board of Commerce to open negotiations with Japan without delay for starting the building work. The "Tanovoff" (?) of the Russian Volunteer Fleet, with withdrawing troops on board, touched at Nagasaki on the 24th. inst., *en route* to Odessa from Vladivostock. It is stated that upwards of 100,000 soldiers are to be shipped home by the same route.

(Mar. 26, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	99½	LONDON	Bank T.T.	2/-5/16
	" Dem'd	99¾		" De'd	2/-3/8
	P'ate 15 d/s.	100½		Cr. 4 m/s.	2/1
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49¼
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	49½
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	51
TIENTSIN	Bank T.T.	102½	Bar silver	- - -	30
	" Dem'd	102¼			
	P'ate 10d/s.	101¼			

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

料理旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル

料理 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

京東 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號　第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科　さるそば 第二更科　營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 並ニ溫泉 營口永世街 店主 堀万助 毎日新湯

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 支店 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園挹

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

遼陽城内東街 一和洋御料理 遼東館

本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）

和洋御料理 日淸倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

旅館 天神館 奉天小西關大街北側 館主 荒川一松

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江龍男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側（電話　號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行

奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すへき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上

旅館兼料理店 高砂館 奉天城外十間房第十五號

奉高館 奉天城外十四號高砂館支店 館主 宇才智平

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話號）主任 藤島初野

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長發園隣

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號 大淸通運公司 營口支店

營口 旅館料理屋同業組合
旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尙ほ不拂の御方は其姓名を揭け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

歐米各國最新流行形 西海洋服店 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ
東京より 蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コッピープレス等
其他 雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屛風等夫れ〻產地より着荷仕り候
新到 各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屛、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 加藤洋行（電話八十番）

飯塚工程局材料部
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前（電話百三十五番）

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭 ○亞鉛板 ○洋釘 ○干擄魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣 標子 木板 料木 營口青堆子 清水寧木局（電話九十四番）

故沖禎介追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件わらは左に
新民府奈良崎八郎　大淸通運公司安田貞藏　營口瀛華學院上野政則

同志友人 敬白

爲替劵無効廣告
淸曆本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替劵即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩仝十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を說明し以后該劵發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也
營口 永同和主人啓

爲替相場（三月二十六日）
日本向 九十九圓七十五錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 一百〇二圓二十五錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一紙類
一半紙 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 全 七圓五十錢
一狀袋 全 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一薄葉 百枚 十三錢以上十八錢
室内装飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十二圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄縁 十枚 八圓
一麻緣通 一疊敷 三圓
一綿緣通 三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
-Subscription 4 cts. a copy 80 cts. per month.
本紙定價 一枚 銀四仙 一ヶ月前金 銀八十仙 半ヶ年前金 銀四弗八十仙 一ヶ年前金 銀九弗六十仙